科目名	機械工作法					年度	2025		
英語科目名	Machining Method					学期	前期		
学科・学年	機械設計科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	井野川 富夫	教員の実務経験		有	実務経験の職種 自動車動造装置の		自動車整備 造装置の設	- 備士及び、機械部品・製 设計/製造に従事	

【科目の目的】

機械部品の製造時にその形状を実際に作り出す方法を学習する。

【科目の概要】

機械部品の製造に求められる、金属材料、非金属材料の加工方法とその特徴を学習する。

【到達目標】

機械設計に必要な工作機械による加工方法の知識を得ることを目標とする。

【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、積極的に取り組み、理解を深めることに心掛ける。ただし、授業時数の4分の3以上出席(オンライン授業含む)しない者は定期試験を受験することができない。

	評価基準=ルーブリック					
ルーブリック	レベル 5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル 1	
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力	
到達目標 金属の加工法	部品に応じた加工法を 選定できる	金属の加工法の種類・ その内容の違いを理解 できる	金属の加工法の種類を 理解できる	助けをもらいながら金 属の加工法の種類を理 解できる	金属の加工法の種類を 理解できない	
到達目標 樹脂の加工法	部品に応じた加工法を 選定できる	樹脂の加工法の種類・ その内容の違いを理解 できる	樹脂の加工法の種類を 理解できる	助けをもらいながら樹 脂の加工法の種類を理 解できる	樹脂の加工法の種類を 理解できない	
到達目標 切削加工	切削工具・刃具の違い を理解し使い分けがで きる	切削工具・刃具の種類を理解できる	切削の種類を理解できる	助けをもらいながら樹 脂の加工法の種類を理 解できる	切削の種類を理解できない	
到達目標 主な工作機械 旋盤・ボール盤・フ ライス盤	主な工作機械の使い方 を理解し、部品形状に 合わせた工作機械を選 定できる	主な工作機械の構造・加工法を理解できる	主な工作機械の加工 法・刃具を理解できる	主な工作機械の種類を 理解できる	主な工作機械の種類を 理解できない	
到達目標 各種工作機械	工作機械の使い方を理解し、部品形状に合わせた工作機械を選定できる	主な工作機械以外のの 構造・加工法を理解で きる		主な工作機械以外の工 作機械の種類を理解で きる	主な工作機械以外の工 作機械の種類を理解で きない	

【教科書】

絵とき機械工学のやさしい知識、オーム社

【参考資料】

講義時に別途配布する

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題 60% : 定期試験を総合的に評価する。 小テスト 30% : 授業内容の理解度を確認するために小テストを実施する。 平常点 10% : 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		機械	年度	20	25			
英語表記			Machinin	学期	前	期		
回 数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	自己評価	
1 機械加工法の概要	各材料の加工法を学ぶ	1 金属の加工法 金属加工法の種類			- 1			
		2 樹脂の加工法	樹脂加工の種類					
	2 荷重-伸び線図	引張試験の概要を学 び、荷重-伸び線図・ 引張強さの定義を理解						
2			2 荷重-伸び線図	荷重-伸び線図				
	する	3 引張強さ	引張強さの定義					
		鋳造・塑性加工・切削	1 鋳造	鋳造 				
3 金属の加工法1	加工を理解する	2 塑性加工	鍛造を含む塑性加工					
			3 切削	切削 研削				
1	今尾の加丁注 9	研削・溶接・焼結を理	1 研削 2 溶接	溶接				
4 金属の加工法2	解する	3 焼結	焼結					
		料の加工法 樹脂材料の特徴 金型・真空成型を理解 する	3				-	
5 樹脂材料の加工法	樹脂材料の加工法		2 金型	金型の使用法				
	1						1	
		à 5 m	1 真空成型	真空成型の特徴			İ	
6	樹脂材料の加工法 2	の加工法 ブロー成型 押出成型 を理解する	2 ブロー成型	ブロー成型の特徴				
	2							
			1 圧延 圧延の種類・方法					t
7 その他加工法	圧延・表面処理を理解 する	2 材料表面の状況	材料表面の表面性状・酸化状況	オ料表面の表面性状・酸化状況				
		3 表面処理	各種表面処理法					
8		手仕上げ・機械加工の				1		
		相違を理解する	2 機械加工	機械加工の特徴				
			1 切削方法	切削方法				
9	機械切削加工		2 切削工具・刃具	切削工具・刃具の種類	1			
	解する	3 使用法	切削工具・刃具ごとの使用法					
10 工作機械		工作機械の種類・加工	1 種類	工作機械の名称				
	F機械 法・切削方法の違いを 理解する	2 加工種類	加工種類					
		3 切削方法	削り方			Ļ		
11 主な工作機械1)	ボール盤の機能を理解	1 穴あけ	穴あけ加工の基本		1		
	な工作機械1 する する	2 刃具	使用する刃具、ドリル					
		3 構造	ボール盤の構造 旋削加工の基本			ł		
19	主か工作機量 9	:工作機械2 旋盤の機能を理解する	1 旋削 2 刃具	使用する刃具、バイト		1		
12 土/4工作機械 2	上な上下収収2		3 構造	旋盤の構造				
		1 フライス加工 平面切削・溝ほり・側面加工					ł	
13	主な工作機械3	フライス盤の機能を理	ライス盤の機能を理 り取目 使用する取目 フライス					
11.6.11円以75.0	M 解する 	3 構造	フライス盤(縦型・横型)の構造		$ \frac{1}{2}$			
1.4	スの14 T 佐地芸	その他工作機械の種						
14 その他工作機械	2他工作機械 類・加工法を知る	2 加工法	その他工作機械の加工法		1			
			1 NC	NCとは?			T	
15	NC工作機械	汎用工作機械とNC工作 機械の相違点を学ぶ	2 相違点	汎用機とNC加工機の相違点		1		
		STEP - PARENTE 1 40	3 特徴	NC工作機械の特徴		1		

評価方法:1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等